

模擬テストだけの場合、受講料は 6,000円(消費税別 1回分)

入学金 5,000円(消費税別 当校を初めて利用する方のみ)

コース名	<b>MOSエクセル スペシャリスト対策コース</b>		
目標資格	<b>Microsoft Office Specialist Excel 2016 スペシャリストレベル</b> マイクロソフトOffice製品のスキルレベルを証明する資格試験制度。試験結果と正答率は試験終了後その場で通知されます。 <b>世界200カ国</b> で実施され合格基準も統一されているため <b>ワールドワイドで通用</b> します。 この資格を取得すると、社内での評価がアップしたり、 <b>就職・転職の際の実務能力の証明</b> になります。		
料金等	受講料 51,000円(消費税別)	教材代 2,000円(消費税別)	所要時間 18時間~24時間

エクセル初級コースの修了者は、45,000円(消費税別 14時間~21時間)で受講できる場合があります。(B) エクセル中級コースの修了者は、39,000円(消費税別 11時間~17時間)で受講できる場合があります。(C) 経験のある方は、経験者割引が適用される場合がありますので、ご相談ください。

### 第0章 基本操作

- ・起動・終了・画面構成・エクセルの起動、エクセル画面の名前と機能、ファイルを開く、Backstage注意点、閉じる、エクセルの終了
- ・基本操作と用語・・・ワークシートの追加と名前変更、セルへの入力と完了操作、入力のキャンセル・元に戻す操作、データ型
- ・選択方法・・・ブロック状に選択、離れたセルの選択、列単位・行単位選択

### 第1章 ブックやシートの作成と管理

- ・ブックやシートの作成・・・テキストファイルのインポート、ワークシートの作成・変更・コピー・移動
- ・セル範囲への移動・・・名前付き範囲への移動、ハイパーリンク
- ・シートやブックの書式設定・・・シート見出しの書式設定、ヘッダーとフッター、列や行の非表示・削除・幅調整
- ・表示をカスタマイズ・・・数式の表示・非表示、表示モード切替と改ページ、ドキュメントプロパティの変更
- ・配布のためのシートやブックの設定・・・ページ設定(拡大縮小印刷)、印刷タイトル・印刷範囲設定、アクセシビリティチェック

### 第2章 セルやセル範囲のデータの管理

- ・セル範囲にデータを挿入・・・オートフィル、フラッシュフィル、置換、セルの配置、セルの表示形式、スタイルの適用と変更
- ・データを整理する・・・スパークライン、小計、条件付き書式

### 第3章 テーブル機能

- ・テーブルの作成と管理・・・セル範囲をテーブルへ変換、テーブルをセル範囲へ変換
- ・テーブルスタイル設定・・・テーブルスタイルのオプション設定、テーブルに集計行を追加する
- ・並べ替えとフィルター・・・並べ替え、フィルターの設定と実行、重複レコードの削除

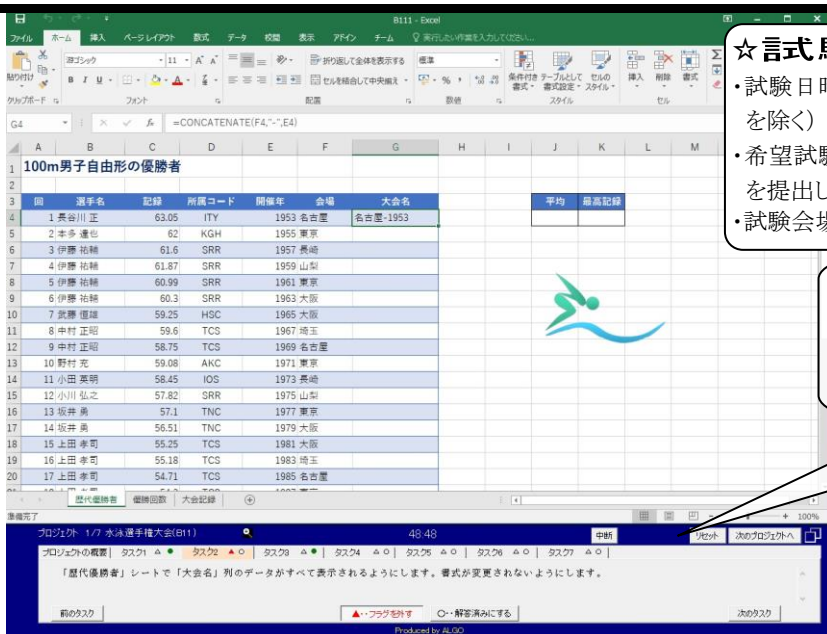
### 第4章 数式や関数の使用

- ・数式の使用・・・数式の作成、オートサムで関数を作成
- ・条件付きの数式の使用・・・IF関数、SUMIF関数、COUNTIF関数、AVERAGEIF関数
- ・文字列操作関数・・・部分文字列関数(LEFT,MID, RIGHT)、文字変換関数(UPPER・LOWER・PROPER)、CONCATENATE

### 第5章 グラフやオブジェクトの作成

- ・グラフ作成・・・グラフ作成と配置、データ範囲の行と列を切り替え、データ範囲(系列)の追加削除
- ・グラフ・画像の書式設定・・・グラフのレイアウトや書式の適用、画像の挿入・書式設定

**模擬テスト**・・・回数は無制限。**類似問題を試験と同じ形式**で解きます。実施後、**間違った問題を個別に確認・修正**できるので、勘違いやうっかりミスなども発見でき、苦手を克服して**試験に一発合格**します。

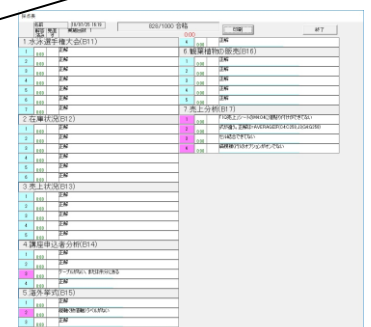


### ☆言式 試験日・試験会場

- ・試験日時は、**受験者自身が指定**することができます。(休校日を除く)
- ・希望試験日の**一週間前**までに、受験料を添えて、受験申請書を提出してください。
- ・試験会場は、もちろん、**アルゴ・コンピュータスクール**です。

### ☆言式 試験形式

- ・問題数は約35問。制限時間は50分。
- ・7つのプロジェクト×約5問のタスク。
- ・問題文は画面下の横長いウインドウに表示。
- ・レビューページから見直しや確認が可能。



### ☆模擬テスト

- ・本試験と類似性の高い問題が出題されます。
- ・誤答理由を講師がヒアリングにより明らかにし、同じ間違いを繰り返さないよう徹底指導します。
- ・人工知能機能により、間違えた問題が出題される比率が高まり、苦手克服に役立ちます。